



楓の森アップデート2



合志市立合志楓の森小学校
学校だより 第4号
令和6年5月21日(火)
文責:校長 佐藤 政臣

○校訓 「志高く 道を拓く」

○学校教育目標 「夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成」

応援団長の決意

5月25日(土)の運動会に向けて、各団一致団結して練習に取り組んでいます。

そこで、各団の団長に運動会への意気込みを聞きましたので紹介します。

青団団長 6年1組(江藤 颯桜さん)

僕が団長になろうと決意した理由は、自分を変えたかったからです。団長になる前の自分は、忘れ物が多くて時間を守れませんでした。しかし、団長になって少しずつ忘れ物をしなくなったり、時間を守れるようになったりしてきました。団長として、みんなをまとめるには、自分がまずは忘れないことが大切だと感じました。団長になって良かったことは、大きな声を出したり、みんなで応援合戦をやったりすることで、悩み事や嫌なことを忘れることができます。今は、一年生から六年生で一つになって、楽しい運動会になるように盛り上げることが、僕のやるべきことだと思います。団長として青団全員に声をかけて、競技をやっているときはみんなでしっかり応援して、青団が優勝できるようにしたいです。六年生は、最後の運動会を楽しい最高の思い出になるように、みんなで一緒にがんばります。一生懸命、最後までやり抜く運動会にできるようにがんばります。

赤団団長 6年2組(坂本 椿さん)

私は、一年生のころからあこがれていた団長になれたのでとてもうれしいです。団長をまかされたからには団員一人一人が笑顔で、一人一人が輝ける団にしていくために、団の楽しい雰囲気をくずさず、きつい時は、その人をみんなではげまし合っています。そして、みんなで心をつにして、全力で競技に取りかかる団、はげまし合い、助け合える団にします。こうしていくと、みんなが心から楽しめて、協働し合い、最後までやりぬき笑顔がたくさんあふれる運動会になると思います。小学校最後の運動会を最高に楽しみたいです。

白団団長 6年3組(土屋 実夕さん)

私が団長になった思いは、二つあります。一つ目は、五年生の時の団長がとてまかっこよく、こんなかっこいい団長を私が受けついでいきたかったからです。二つ目は、六年生は最後の運動会なのでいい思い出をつくりたかったからです。私の団、白団は、最後まであきらめずに全力で競技して、勝つ

も負けても笑顔で終われる白団にしたいです。それを実現するために、みんなで力を合わせ、うまくいかなかった時は、作戦を変えるなど、どんどん競技に熱をかけてやっています。私は、この運動会を悔いなく私も白団のみんなも思い出にできるような最高の運動会にしたいです。今はうまくいかなかったことなどは、何回も何十回も何百回もやり直してまた挑戦しています。だから競技やダンス、かけっこでうまくいかずいい思い出になっていない人がいて私の思っている運動会になっていない人がいても、私たちみんなの気持ちがこもっている白団の応援団を見てもらい、いい思い出ができてほしいです。そして、団長のかっこいい姿をみんなに受けついでもらいたいです。私が中学生になって、後輩のかっこいい姿を見たいです。みんなにいい思い出ができるようにそして、みんなが笑顔で終われるようにがんばります。

運動会のスローガン及び各団のシンボルフラッグ完成!

今年の運動会のスローガンは、「笑顔でやりぬけ 思いを伝えろ 協働&友情パワー!」です。

これには、合志楓の森小・中学校の児童生徒が9年間で身に付ける資質・能力である「(Y)やり抜く力、(T)伝える力、(K)協働する力」を意識して、子どもたちが作成しました。



子どもたちは、「すべての競技を笑顔でやり抜き、競技に取り組む姿で思いや努力を伝え、同じ団や学年の友達と協働することでよりよい運動会にしたい」と考えています。子どもたちの「やる気と一生懸命な取組」を期待してください。

また、昼休みや放課後の時間を使ってシンボルフラッグを完成させることができました。

楓の森小 HP

学校行事や子どもたちの学習の様子につきましては毎日ホームページを更新していますので、ご覧ください
<https://es.higo.ed.jp/kaedenomori/>

